

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動に御理解と御協力をいただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査について、自校で分析した結果の概要を下記の通りまとめましたので、お知らせいたします。

本校といたしまして、成果や課題を把握・検証して、その改善を図り、子どもたち一人一人の学習状況の改善や学習意欲の向上等につながるよう教育実践を進めてまいりたいと考えています。

なお、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の一部であり、学習状況の全てを判断することは難しいところであることを御理解いただきますようお願いいたします。

1 結果について

国語

〈成果〉～正答率の高い問題内容～

- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかをみる問題
- 中心となる語や文を見つけて要約することができるかをみる問題
- 話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかをみる問題

〈課題〉～正答率の低い問題内容～

- ▲図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる問題
- ▲情報と情報との関係付けの仕方を理解して使うことができるかどうかをみる問題
- ▲日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題

算数

〈成果〉～正答率の高い問題内容～

- 伴って変わる二つの数量について、必要な情報を表から読み取ることができるかをみる問題
- 一の位が0の2位数について、乗法の計算(50×40)ができるかをみる問題
- 正方形の意味や性質について理解しているかをみる問題

〈課題〉～正答率の低い問題内容～

- ▲伴って変わる2つの数量が比例関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを記述できるかをみる問題
- ▲高さが具体的に示されていない複数の三角形について、面積の大小を判断するのに必要な情報を見出し、その理由を記述できるかをみる問題
- ▲わり算の筆算の意味を考えることができるかをみる問題
- ▲百分率で表された割合を理解しているかをみる問題

児童質問紙

〈成果〉～肯定的な回答の割合が高い内容～

- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
- 「勉強は大切だと思いますか」「学習したことは将来、社会に出たときに役立つと思いますか」といった学習への必要感に関する質問
- 「ICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

〈課題〉

- ▲「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」といった自己有用感に関する質問の肯定的な回答の割合が全国平均より低い
- ▲「自分の考えを発表する機会では、考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。」といった表現の工夫に関する質問の肯定的な回答の割合が低い
- ▲学校以外の1日の勉強時間が1時間より少ない児童の割合が多い

2 今後に向けた改善策

(1) 学力向上の取組

「目的や条件を理解し、深く考える力」の育成を重視した授業展開

- 「自分の考えを表現する場面で、条件や目的を意識して、考えが上手く伝わるよう工夫して表現する」ができることをねらいとした学習活動を大切にします。
- 『深く考える力』を「投げ出さないうちは自分で考える」「学びをつなげる(学びと学び 学びと生活)」「学びを広げる」とおさえ、その力の育成を意識した授業づくりを大切にします。

「振り返り」を重視した授業展開

- 単元末や学習時間最後の振り返りだけでなく、「途中振り返り(目的や条件の確認 理解度の確認)」を大切にします。
- 「授業の理解度の確認時間」と「今日の家学習を考慮する時間」をセットで取り入れるなど、「振り返りを家学習に生かす態度の育成」を大切にします。

記述力の向上に向けた取組

- 宿題などでミニ作文(日記やテーマ作文など)の取組を継続します。

基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組

- 授業の始まりと終わりや集中すべき場面により「姿勢」で取り組むことや机上の整理など、学習規律の徹底を継続します。
- 給食準備時間の「解き直しタイム」やNST(放課後学習)の時間を充実させていきます。

(2) 望ましい生活習慣づくり

自己有用感を高める取組の推進と時間の使い方を考える力の育成

- 行事や係活動、当番活動などで「自分の役割」をやり遂げることを通して、自己有用感を高めていきます。
- キャリアパスポートを活用し、行事などの「目標設定」と「振り返り」に取り組ませ、目標をもって取り組むことを大切にする態度の育成を継続していきます。
- 「自主学習プランニングシート」「生活プランニングチェックシート」を活用して、家庭と連携しながら、主体的な家学習の習慣化や生活リズムの見直しや改善に努めます。
- 情報機器使用時のルールやメディアとの関わり方に関する指導に取り組み、「アウトメディア」を含め望ましい時間の使い方について考えるように指導していきます。

3 お願い

生活習慣と学力には、密接な相関関係があることが分かっています。学校では、「授業改善」「落ち着いた学習環境づくり」「望ましい習慣づくり」等の取組を行っています。御家庭でも、学校で取組を推進している「自主学習プランニングシート」「生活プランニングチェックシート」を御活用いただきながら、「家学習の定着」「早寝・早起き・朝ご飯」「家族同士での挨拶・会話」「お手伝い」「外遊びの奨励」等、基本的な生活習慣の改善と定着について、御指導いただきますようお願いいたします。